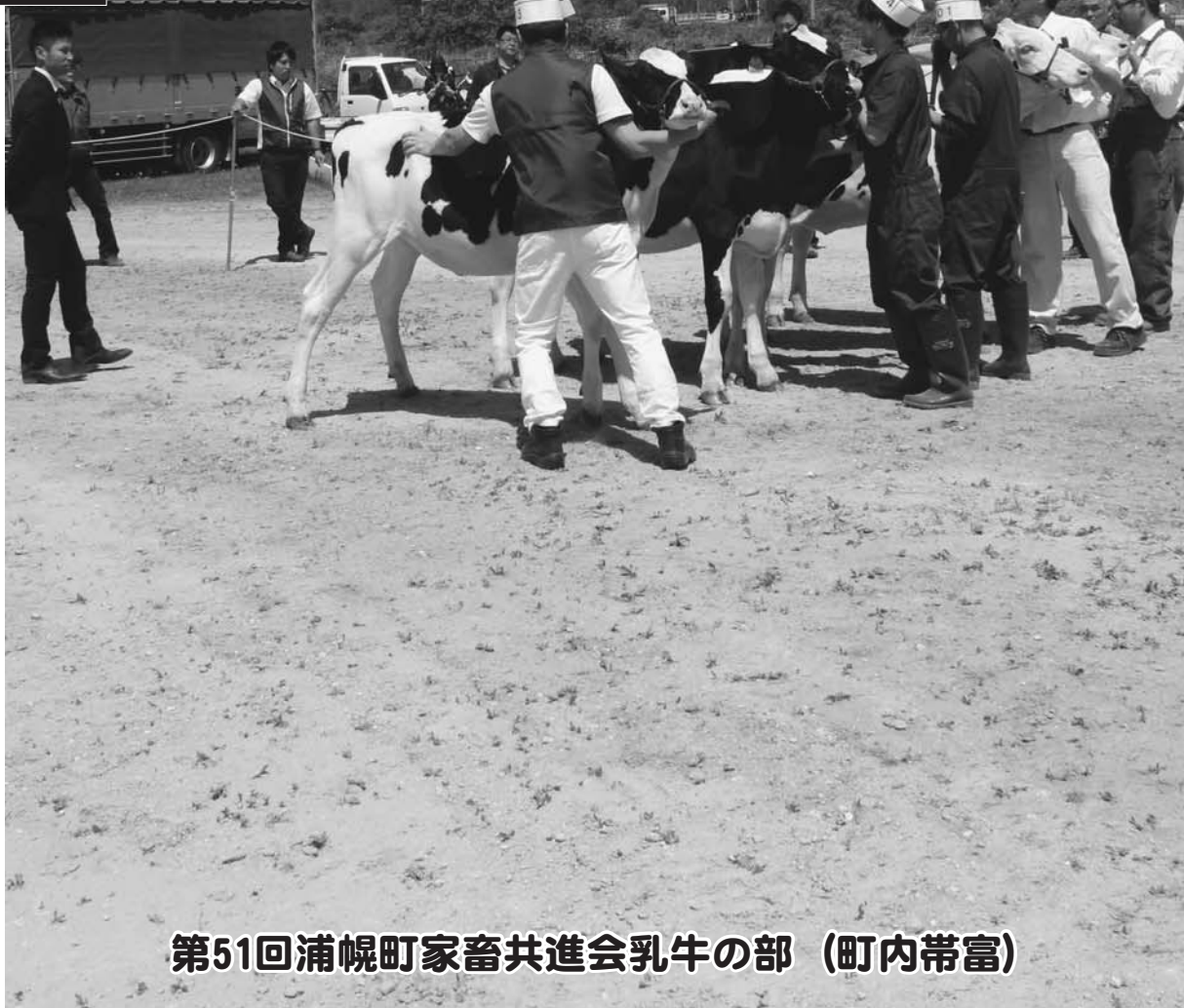


浦幌

2018

7

No.621



第51回浦幌町家畜共進会乳牛の部 (町内帯富)

第43回通常総会

全議案承認

J Aうらほろの第43回通常総会が6月7日、浦幌町中央公民館（町内桜町）で組合員193名の出席（本人出席105名、委任状出席23名、書面出席65名）と町内外関係団体からの来賓を迎えて開かれました。

馬場組合長は「天候に恵まれおおむね作物は収量、品質共に平年以上であったが、大豆・デントコーンは台風による倒伏被害が発生し、大きな収量減を招いてしまった。その様な中で、組合員皆様の努力と関係機関のご指導により平成27年の最高取扱高に次ぐ11.2億2百万円の取扱高を達成する事が出来た。」と述べました。

続いて来賓を代表して水澤一廣町長、J A北海道信連帯広支所の吉原裕貴支所長から祝辞をいただき、議長に鳴海博さん（静内）と泉野真吾さん（宝生）が選出され、議事に入りました。

議事は平成30年度事業計画の設定など



挨拶する馬場組合長

全7議案が原案通り可決し、最後には「J A北海道大会決議事項の着実な実践に関する特別決議」が満場一致で採択され、総会は終了しました。

総会での意見要望は、理事会での十分な審議を経て、今後の農協運営に反映させていただきます。

○平成29年度事業のまとめ

総務事業

出資増口による出資総額は10億9千3百万円（前年比100.8%）、純資産は27億1千5百万円（同比104.5%）となりました。固定資産では、安全な種子馬鈴しよ供給のための専用選別貯蔵施設の建設や老朽化したスタンドの地下タンク入替工事、その他施設を計画に基づき整備し、12億5千8百万円（同比123.5%）となりました。

また、自己資本比率は22.66%（同比0.71ポイント減）、固定比率は279.0%（同比29.7ポイント増）となり政令基準を上回る健全な財務状態を確保する事が出来ました。

信用事業

融資 貸出金は手形貸付金が4億2千7百万円（前年比155.6%）、証書貸付金で27億6千6百万円（同比93.6%）となり、貸出金合計では33億2千6百万円（同比98.7%）となりました。

貯金 各種キャンペーン実施の早期予約推進などに取り組んだ結果、総貯金残高は17.3億1千4百万円（前年比105.0%）となりました。

そのうち、当座性貯金は57億7千3百万円（同比107.1%）、定期性貯金は11.5億4千1百万円（同比104.1%）と増加しました。

共済事業

長期共済は満期到来や保障見直しなどにより、期末保有高は36.6億1千5百万円（前年比94.8%）となりました。

購買事業

生産 肥料は商系の攻勢が厳しい中、資材 推進に取り組みましたが、大口取引先の供給量減少や価格引き下げ及び奨励金の価格織り込み等の影響により5億8千6百万円（前年比93.5%）の取扱となり、農薬は、ピート除草剤の値下げ等の影響で3億4千4百万円（同比95.0%）、飼料は、単価が上昇傾向で推移したことにより11億6千9百万円（同比101.5%）の取扱となりました。

その他生産資材は、住宅の増改築の他、施設の修繕、大型の設備投資等が増加し

たことにより3億7千4百万円（同比100.5%）となり、総取扱額は24億7千3百万円（同比98.4%）となりました。

農機 農機具は取り扱いが減少し2億9千4百万円（前年比93.3%）となり、車両においても新車及び中古車の入替更新が減少し3千5百万円（同比70.0%）となりました。

修理資材は、車検修理部品が増加し2億4百万円（同比110.8%）となり、総取扱額は、5億3千3百万円（同比97.1%）となりました。

燃料

燃料価格等の影響により年間取扱高は前年対比で増加しました。油類取扱高は7億3千4百万円（前年対比126.6%）となりました。また、油類取扱量ではガソリン、免税軽油では減少したものの軽油、灯油及び重油で（次ページへ）



議長に選ばれた鳴海さん（右）と泉野さん

(前ページより)
大きく増加し、総取扱量は8402キロ
(同比114・3%)となりました。

販売事業

農産

小麦は、越冬前の天候災害の影響による播種遅れと10月中旬からの低温により、融雪時には茎数不足や靡耕も見られましたが、起生期以降は天候に恵まれ生育は順調に推移し出穂期は平年並みとなりました。しかし、その後も下位の弱小茎の淘汰が進まず圃場内でのバラつきが見られる中、乳熟期から成熟期にかけての干ばつ・猛暑により生育が早まり収穫を迎え、10ヶ当たり収量は631kg(前年比119・0%)となりました。

豆類は、大豆が10ヶ当たり収量181kg、小豆が同収量245kg、金時が214kg、手亡は318kgとなりました。

馬鈴しよは萌芽期・着蕾期・開花時期が平年より2日早く軟弱徒長傾向の生育でしたが、7月の干ばつ・猛暑の影響により茎葉の伸びは鈍化、一転し平年を下回る生育となりました。男爵などの早生品種では、塊茎の肥大に繋がりが病害虫の被害や塊茎腐敗の発生も少なく、歩留まりの向上に繋がりました。澱原品種では小玉傾向となりましたがいも数は多く、収量が増加し10ヶ当たり収量3845kg(同比144・0%)、ライマン価21・54%と前年を上回りました。

てん菜は、西部萎黄病や褐斑病等の病害の発生はほとんどなく、収量は10ヶ当

たり収量6238kg(同比144・0%)、糖分17・1%となりました。

作物全体を通して、収量と品質を確保できたことから10ヶ当たりの精算額も大幅な増加となり、総支払高(経営所得安定対策交付金含む)52億7千7百万円(同比161・7%)となりました。

生産 7月の猛暑により畑作物・粗

支援 飼料等が干ばつ状態となり生育不良となりました。その後、9月に2年続けてとなる台風の猛威により、品質低下となった作物はありましたが、全体的には収量に恵まれた状況でした。収穫作業は、デントコーンの全面倒伏と大豆でも多くの圃場で倒伏が発生し作業効率が低下したほか、秋耕時の天候不順により、昨年同様に前後作業が重なり全般的に作業遅延を生じました。取扱高は2億6千8百万円(前年比104・1%)となりました。

畜産

全道の生乳生産目標数量は前年度対比で100・3%に設定されました。当組合の生乳生産は、前年度産の低品質粗飼料の影響を受け、例年より早い5月中旬をピークに減産基調で推移、一時前年対比92・3%まで落ち込みました。一番草は天候にも恵まれ例年並みに収穫できたものの、期待されてい



特別決議を読み上げる
山岸大介青年部長

たデントコーンは2年連続の台風被害により、以後の乳牛の体調や生乳生産への影響が懸念されましたが、11月から増産基調に転じ、累計乳量は前年対比97・7%まで回復しました。

酪農生産振興対策では、生乳増産意欲と収入向上を図るため、生乳増産対策事業に取り組みましたが、直近3カ年平均乳量より増産したのは16戸694tに留まり、全体では前年度より2280tの減産となりました。

肉牛生産振興対策では、優良繁殖和牛雌牛の維持・増頭と改良を図るため、肉用牛生産基盤強化対策事業により導入77頭、保留104頭、更新88頭が事業対象となり、46頭の増頭となりました。

畜産物の年間取扱高は、生乳と個体販売を含めた総取扱高で59億2千6百万円(前年比98・0%)となりました。

出資配当と 事業分量配当

これらの事業に取り組んだ結果、平成29年度の当期純利益は1億1千5百万円となり、事業分量配当3千万円に加え5百万円の出資配当(払込済出資金の0・5%)を行うことが可決されました。

○平成30年度事業方針

本年度からスタートする第9次浦幌町農業振興5カ年計画においては、「経営パートナー・後継者、全ての力を結集し

10%の所得向上」を基本目標とし、浦幌農業の振興と農業経営の安定化を図るため、積極的に取り組んで参ります。また、農協改革では信用事業に矢が放たれ、信用事業基盤の縮小圧力が強まる中、市中銀行と同等の高度な内部管理態勢と透明性が求められ、信用事業の代理店化(信用事業分離)を迫られております。当JAにおいても信用事業の赤字は避けられませんが、販売・購買・営農指導・金融の一体的サービス提供に向け総合事業運営を基本に信用事業のあり方について検討を進めて参ります。

JA運営は、より一層の健全性・信頼性が求められており、リスク管理の徹底及びコンプライアンスプログラムを実践すると共に、自己資本の造成と経営基盤の強化を図り、組合員の皆様をはじめ地域住民から信頼されるJAを目指し、役員一丸となって取り組んで参ります。



会場の様子

就任にあたって

組合員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より当JAの各事業にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。この度、舟橋前参事の後を受け、過般の理事会において参事職に選任され、6月16日をもって拝命いたしました。

もとより浅学非才の身であり、その資質に乏しく、知識・経験不足は否めないとはいえませんが、組合員や役員の方々の負託に応えられるよう誠実に職務にあたり、努力して参る所存でございます。

最近の農業・農協を取り巻く環境はTPP11の年内発効の恐れがある中、円安による資材・飼料・燃料の高騰など先行き不透明な状況が続いており、「信共分離」や「准組合員規制」など国が進める農協改革においても我々が望まない方向へ向かっているとの疑問を抱かざるを得ません。将来への不安が大きくなるほど農協に対する期待感も高まるとの話を耳にした事があり、そのような組合員皆様の想いに応えるためにも、協同組合の理念を見失わないように、また農協に対する信頼を損なわないように参事としての義務と責任を常に意識しながら業務にあたって参ります。



参事
佐藤利範

ます。

また、本年度の総会により採択いただきました「第9次浦幌町農業振興5カ年計画」の基本目標である「経営パートナー・後継者 全ての力を結集し10%の所得向上へ農畜産物取扱高120億円を実現」の達成に向け、「新たな生産基盤の確立」「販売力強化とコスト削減」、「農業支援体制と営農コンサルの充実」、「担い手の育成と支援対策」、「地域に根ざした事業展開」、「JA人材育成と経営体質強化」の6項目を課題に掲げ取り組んで参ります。

決して予断の許さない状況ではあります。ですがどんな状況であつても、組合員の皆様の営農と生活を守り、農家所得の向上と組合財務の健全化が農協の果たすべき使命と捉えており、このことを目標に関係機関とも連携しながら組合員・役員の方々の英知を結集し、一丸となって事業の推進に努めてまいりる所存であります。課せられた使命と責務は重大であります。この重責をお引き受けした以上、誠心誠意努めて参りたいと思っております。今後ともなお一層のご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、組合員そして家族の皆様のご健勝をご祈念申し上げ、就任の挨拶といたします。

人事異動

(平成30年6月16日付)

総務部審査役 舟橋 敏行
参事 佐藤 利範
内部監査室長 浅利 尚宏
(平成30年7月1日付)
購買部長兼務を解く 佐藤 利範

購買部長兼燃料課長兼上浦幌支所燃料係長 佐藤 幸一

上浦幌支所長兼上浦幌支所管理課長 浅川 勇二

内部監査室員兼務 馬場 一史

内部監査室員兼務 横山 透

JA役員と青年部役員懇談会・意見交換会を行う

6月26日、農業会館大会議室でJA役員と青年部(山岸大介部長)役員の懇談会を行いました。

参事より第9次農業振興5カ年計画の重点部分について説明後、青年部より小麦刈り取り業務の仕組みや農協の職員体制についての意見質問がなされました。その他に、参考とすべき具体的研修先の紹介、補助事業の仕組みについてなど活発に質問も出ており、内容の充実した懇談会でした。

終了後、会場を辰正(町内栄町)へ移し、意見交換会が行われ、最近の農作業の状況や営農に関するアドバイスなどで話が盛り上がり、山岸青年部長は「JA役員と話す

ことは大変貴重であり、有意義な会とすることが出来ました。今後の活動へつなげていきたいと思っております。」と話していました。



懇談会の様子



盟友の説明を真剣に聞く児童

青年部活動（山岸大介部長） 子ども農業体験学習

6月5日、今年第1回目の子ども農業体験学習を上浦幌中央小学校で開催し22名の盟友が生徒達と共に馬鈴しょ3品種（メークイン、レッドムーン、インカのめざめ）の播種作業を行いました。

作業後全員での一枚

生徒達は4班に分かれ、盟友の説明をしっかりと聞きながら真剣に作業を行い、作業終了後に山岸部長は「この活動を通じて作物を育てることの大切さを学んでほしい」と生徒に話していました。
今後は収穫作業や出前授業を行う予定です。

一番牧草収穫 終盤天候不順に悩まされる

牧草畑で、今年最初に刈り取る「1番牧草」の収穫作業が終盤を向かえております。

営農販売部営農サポート課によると、今年の1番牧草受託面積は昨年を若干下回る約850畝、収穫作業は平年並みの6月14日にスタートしました。序盤は降雨による中断はなく、好条件のまま順調に進捗しましたが、終盤を向かえ天候不順により作業が滞っております。

本年産の牧草は春先からの好天と適度な雨で、順調な生育量が確保され、営農サポート課では「収量も多く、過去に類を見ないほど良質な牧草」と話していました。

一昨年産は牧草・デントコーンともに栄養価の低下を招き、昨年産も収穫遅れのデントコーンで発酵品質が劣りました。このところ粗飼料の低品質が産乳量の減少に大きな影響を及ぼしており、本年産の牧草に期待をしていたところ

です。

営農販売部畜産課は「今年は品質も収穫量もまずまず。生乳生産回復基調に弾みがつく」と期待しております。

収穫の様子



第51回浦幌町家畜共進会

最高位

朝日昇司さん (乳牛未經産の部)
 (有)ランドハート (乳牛経産の部)
 森秀幸さん (肉牛の部)
 坪原健治さん (馬の部)

6月1日、第51回浦幌町家畜共進会(浦幌町家畜共進会協議会主催)が共進会場(町内帯富)で開催されました。

乳牛20頭、肉牛29頭、馬5頭の計54頭が出陳され、出陳者は朝早くから審査に向けて念入りに準備を行っていました。

審査には大樹町酪農家の穀内隆志氏(乳牛の部)、十勝農業協同組合



乳牛の部



肉牛の部

連合会の山中格氏(肉牛の部)と斉藤哲氏(馬の部)が当たり、家畜の発育具合などをじっくりと審査し序列を付けていきました。

また、会場内では和牛肉や和牛ハンバーグ、ローストビーフ、花の苗などが販売されており、多くの方が訪れ商品を購入していました。なお、出陳牛の主な成績は以下の通りです。

第51回 浦幌町家畜共進会最終成績 (出陳者名敬称略)

○乳牛の部

区分・順位	名号	出陳者	住所
未經産の部	最高位	サニーライズ ルツク アツト エルサ	朝日昇司 活平
	準最高位	サニーライズ FV ドアマン フイズ	朝日昇司 活平
経産の部	最高位	Lハート アイ AS ファイーバー	(有)ランドハート 太平
	準最高位	LH ジーパーブラウラー クイーン ET	(有)ランドハート 太平
第1部(未經産・6ヶ月以上8ヶ月未満)	1	サニーライズ UN アーチ ルルージュ	朝日昇司 活平
第2部(未經産・8ヶ月以上10ヶ月未満)	1	サニーライズ ソロモン パージン リリー	朝日昇司 活平
第3部(未經産・10ヶ月以上13ヶ月未満)	1	サニーライズ FV ドアマン フイズ	朝日昇司 活平
第4部(未經産・13ヶ月以上16ヶ月未満)	1	サニーライズ ルツク アツト エルサ	朝日昇司 活平
第5部(未經産・16ヶ月以上20ヶ月未満)	1	ミンセント ソロモン フィン バリアン	佐々木牧場 豊北
第7部(経産・36ヶ月未満)	1	LHジーパーブラウラー クイーン ET	(有)ランドハート 太平
第8部(経産・48ヶ月未満)	1	Lハート アイ AS ファイーバー	(有)ランドハート 太平



馬の部

○肉牛の部(黒毛和種・雌)

区分・順位	名号	出陳者	住所
最高位	あきただ9	森秀幸	貴老路
	準最高位	あいら	田野敏規 富川
第1部(未經産・6ヶ月以上~10ヶ月未満)	1	あいら	田野敏規 富川
第2部(未經産・10ヶ月以上~15ヶ月未満)	1	ふくみつ	森秀幸 貴老路
第3部(未經産・15ヶ月以上~26ヶ月未満)	1	あきただ9	森秀幸 貴老路
第4部(経産)	1	ことざくら	高田哲雄 宝生

○馬の部

区分・順位	名号	出陳者	住所
最高位	誉 姫	坪原健治	相川
	準最高位	晏 松 姫	松村竜幸 美園
第2部(雌・1才)	1	快光四世	佐藤敏律 北町
第4部(雌・子付・3才以上)	1	夢の夢	坪原健治 相川



デイリークイーンは購買部の齊藤奈那花さん

浦幌町酪農振興協議会

女性一泊研修

6月5日・6日、浦幌町酪農振興協議会（山下茂樹会長）は酪農女性研修を開催し、9名が参加しました。

今回は(有)仁成ファーム（阿寒町）の第2牧場であるウイングファームの視察を行いました。ウイングファームでは初妊牛を含め約700頭（内640頭搾乳牛）もの乳牛を飼養しており、60ポイントのロータリーパーラーにより3回搾乳を行っています。また、発情・治療は搾乳後ストールに戻る際に、機械が自動で対象牛を感知して個別の区域に誘導し、後に処理を行っており、参加者は飼養管理の効率の良さにとっても驚いていました。



研修の様子

浦幌町農民連盟

税務研修を開催

農民連盟執行委員（渡部順一委員長）は、6月11日、12日に28名の参加のもと税務研修を開催しました。

1日目は、岩見沢市の(株)キセキ北海道本社を訪れました。まず、2階会議室においてビデオによる会社の歴史や事業内容、排ガス規制の推移などについて概要説明を受けました。

現在の事業規模は、47営業所、7整備工場、1製造工場をもち、従業員数は450名で29年度の売り上げは190億円とのことで、ディーラーでありながら農業機械や農業施設的设计・施工・製造を行っているところや多くの海外農機メーカーの製品を取り扱っているところが会社の特色とのことでした。

また、カタログにより各種農業機械の説明を受け、1階ショールームでトラクターや輸入品を含む各種農業機械を見学しましたが、稲作地帯であるため普段目にするものない田植機なども数多く展示されておりました。

参加者はトラクターの運転席に乗り込んだり、農業機械の仕様などについて担当者に質問しながら興味深く観察していました。

2日目は札幌市苗穂にある雪印メグミルク(株)を訪れ、ガイドツアーまでの待ち時間には

待合室にある勝源（カツゲン）神社に参拝したりおみくじを引いたりして過ごしていました。

ガイドツアーでは、近代酪農と会社の歴史や創業当時実際に使用されていた機械・道具類やバター・チーズの製造工程の動くミニチュアが展示されている「酪農と乳の歴史館」の見学をしながら説明を受けました。その後、過去に製造された製品のパッケージや年代別のポスター、スキー部コーナーの展示を見ながら移動、エアシャワーを通って工場に入り、実際にパック詰め用の牛乳を作る様子を見ながら説明を受けました。

参加者は説明を熱心に聞き入り、見学していただきました。



(株)キセキにて



第3回理事会



6月7日、役員室において理事会を開催し、役員報酬の支給などについて審議され、原案通り承認されました。

○報告事項

- ・情勢報告
- ・贈与税納税猶予に係る債務保証解除について
- ・固定資産の取得について

○議案

- ・役員報酬の支給について
- ・行政庁に提出する業務報告書について
- ・固定資産の取得について
- ・上浦幌支所整備事業検討委員会の設置について

○協議案

- ・新採用職員農家実習について



第4回理事会



6月15日、役員室において理事会を開催し、固定資産の取得などについて審議され、原案通り承認されました。

○報告事項

- ・情勢報告
- ・組合員の脱退及び資格変更について
- ・内部管理態勢にかかる指導要領・JABリンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について
- ・第2回農事組合長会議について

○議案

- ・組合員の持分譲渡及び減口について
- ・固定資産の取得について
- ・学識経験理事補欠選挙に係る各管理者・立会人の指名について
- ・学識経験理事補欠選挙に係る役員適格候補者の推薦について
- ・参事の選任について

○協議案

- ・JAうらほろ役員研修視察について



第5回理事会



6月26日、役員室において理事会を開催し、平成29年度決算監査実施結果に基づく改善を要する事項に関する回答書などについて審議され、原案通り承認されました。

○報告事項

- ・情勢報告
- ・人事の発令について
- ・学識経験理事補欠選挙結果について
- ・内部監査結果通知書（平成30年3月31日基準）について
- ・固定資産の取得について
- ・第8回組合員家族交流会開催案内について
- ・平成30年度作付面積作物別集計表（聞取調査）について
- ・5月末生乳生産動向について

○議案

- ・組合員の持分譲渡について
- ・平成29年度決算監査実施結果に基づく改善を要する事項に関する回答書について

○協議案

- ・平成30年度お盆の臨時休業について

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

JA全中は政策決定のプロセス変化を踏まえ、夏前に政策確立に係る取り組みを強化する方向を示し、本年は6月7日に与党政策責任者に対して全国段階の政策提案を実施しました。JAグループ北海道では全国大会に先立ち、道内選出与党国會議員に対してJA北海道大会決議の着実な実践を通じた自己改革の進展に向け、課題となる准組合員の事業利用の維持、会計監査人監査への移行に伴う負担への配慮、中央会の連合会移行に伴う税制に関する所要措置など、農協組織基盤対策に関する意見交換を通じ、JA・組合員の負担増につながらない仕組みの構築について政策提案を実施しました。

JA北海道信連

JAバンク北海道は、認知度向上と地域活性化の観点から、6月12日のファイターズ公式戦を、JAバンク北海道スペシャルナイターとして開催し、来場者にファイターズとコラボしたオリジナルクリアファイルを配布しました。JAバンクイメーજ�キヤラクターの松下奈緒さんが始球式を務め、ちよリスがYMCADダンスを踊るなど、試合を大いに盛り上げました。



ホクレン

ホクレンは、社会・地域貢献活動「シーズプロジェクト」の一環として、児童養護施設の子どもたちに北海道日本ハムファイターズの試合を通じて元気と勇気を感じ、地元・北海道への愛着を持つてもらおうと、児童養護施設8施設に札幌ドームでの観戦チケット計200枚と限定ユニホームをプレゼントしました。この取り組みは、2013年から継続して実施しており、今年で6年目になります。



HOKUREN
Seeds
PROJECT



JA共済連北海道

JA共済連は、北海道交通安全協会に対し、飲酒運転撲滅うちわ5万本を始め、交通安全旗・交通安全のぼりを寄贈しました。「全道小・中学生交通安全ポスターコンクール」2017年度入賞作品が掲載されたうちわは、全道各地の夏祭りやビアガーデンなどのイベント会場で配布される予定です。このような活動で地域住民の交通安全意識の高揚を図り、安心と安全の地域づくりに貢献してまいります。



JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



浦幌町農業協同組合

組合員の皆さまへ

食と農を、
エネルギーでつなぐ。
Hokuren Service Station



ホクレン浦幌給油所



夏の感謝祭

セルフ

7月20日(金)・21日(土) 2日間限定

期間中 20ℓ以上給油のお客様に

※写真はイメージです。

BOX
ティッシュ



5箱プレゼント!

給油は

特別価格で
ご提供



ガソリン・軽油

5円/ℓ引き

ホクレンSSポイントカード

全道ホクレンSSで使用ができる、いつもの給油を
"お得"にする切り札!



店頭給油2ℓにつき
1ポイント進呈中!

1ポイント≒1円として
給油・商品の購入の際に
使用ができる!

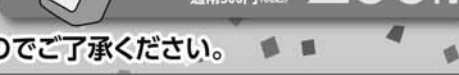
※一部使用が出来ない商品もございます。詳しくはスタッフまでお問合せ下さい。

洗車プリカ・カー用品特価販売

洗車プリカカード4,000円分
通常3,000円(税込)のところ

2,000円(税込)

ウォッシュャー液 200円(税込)
通常300円(税込)



※期間中は緊急時を除きピット作業は行ないませんのでご了承ください。

営業時間 8:00~19:00

ホクレン浦幌給油所 TEL576-2126

営業時間 8:00~18:00

上浦幌給油所 TEL576-6241



農林水産省 ×



熱中症予防
声かけプロジェクト
～ひと涼みしよう～



環境省
Ministry of the Environment

熱中症対策!



農作業中のこまめな
水分・塩分補給で

熱中症予防強化月間!!

今日の熱中症
危険度は!?

農作業の前に暑さ指数を
チェックしよう!

ひと涼み

検索



ココから
チェック→

すず太郎
熱中症予防声かけ
プロジェクト
公式キャラクター

農林水産省

農林水産省は農作業中の事故防止に取り組んでいます!

農水省 農作業安全 検索 http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/zen

農林水産省は熱中症予防声かけプロジェクトに参加しています。

新パズル(7月)

霧	オ	シ	電	カ	イ	ノ	タ	カ
ハ	イ	ゴ	霊	電	ツ	蠕	ド	ウ
雫	儒	キ	ヨ	ウ	ガ	ゲ	ホ	ヨ
露	雨	ヲ	ミ	タ	カ	イ	雪	需
シ	ニ	ゲ	蕾	ツ	ウ	霽	シ	ノ
ア	ク	霍	曇	ユ	漏	ア	鱈	ヤ
霧	雲	ツ	チ	ウ	孀	工	サ	ラ
ワ	ゼ	霜	滯	靄	ゴ	ン	イ	霞
カ	ン	ト	ウ	ダ	イ	震	サ	イ

朝霞、「雨を見たかい」、優曇華、雲仙、川霧、関東大震災、機密漏洩、雫石、「紫電改のタカ」、霜注意報、儒教、需要、雪月花、蠕動、孀恋、背後霊、電害車、雫囲気、滯標、霽和え、味蕾、矢鱈、夕靄、露西亜

□解き方 集中豪雨による甚大な被害が多発しています。今回は「雨冠」のつく漢字を並べてみましたので、探してください。まっすぐであれば、縦横斜めにどの方向から読んでもかまいません。

□応募要領 同封のハガキに答と住所・氏名(組合員の場合は世帯主名もご記入ください)を書き、投函ください。また、本・支所の貯金

がとうございました。

ヤ	ス	オ	カ	ソ	ナ	セ	ア	フ
リ	モ	ジ	ギ	テ	モ	ゴ	ズ	チ
グ	オ	ホ	ウ	ダ	ツ	シ	ミ	ブ
サ	カ	ミ	コ	ア	ニ	シ	リ	タ
サ	ウ	イ	タ	ン	マ	チ	ハ	マ
ト	ケ	オ	ナ	マ	リ	ガ	ハ	エ
ウ	ン	オ	ラ	ユ	チ	イ	ノ	ノ
ガ	オ	タ	ウ	ク	ス	ヤ	ン	ヒ
ネ	ト	ン	マ	シ	テ	ツ	サ	マ

□賞品 正解者のうちから抽選で5名の方にエコープ商品券を差し上げます。

□締め切り 7月24日(火)(当日消印有効)
□発表 表 正解と当月号に掲載します。

6月号のパズルへの応募ありがとうございました。

13名中12名が正解でした。抽選の結果、次の5名の方に賞品をお送りいたします。

▽当選者名(敬称略)
香川 由(本人)(活平)
松田 洋子(篤志)(幾千世)
片野 彩子(智生)(万年)
榊原 政士(本人)(直別)
清水イワ子(本人)(住吉町)



6月号の答えは ANSWER シオガマ(塩竈市)でした

肥料一斉推進のお礼

いつも購買事業をご利用いただき、ありがとうございます。
6月4日から14日まで実施致しました肥料一斉推進は、皆様のご協力の下無事に終了することが出来ました。
お忙しいところ時間を割いてくださいました組合員の皆様に厚くお礼申し上げます。
今後とも購買事業をよろしくお願い致します。

【購買部資材農機課】

J A 共済一斉推進終了のお礼

いつもJA共済事業をご利用頂き、ありがとうございます。
6月20日～22日にかけて実施された共済一斉推進は、皆様のご協力のもと無事終了することができました。
期間中お忙しいところ時間を割いて下さった組合員の皆様、また準備・活動にご協力頂いた皆様に厚くお礼申し上げます。
JAうらほろ共済係では、推進期間のみならず年間を通して「ご契約内容の見直し」を中心とした活動を行っています。
「ひと・いえ・くるま」全般的に皆様の身体や財産を守るためお役に立てるよう、また有利な提案で喜んで頂けるよう、「汗をかき・知恵を絞って」まいりますので、ご相談や悩みなどございましたら、些細なことでも遠慮なくお声かけ下さい。
今後とも、JA共済を何卒よろしくお願い申し上げます。

【総務部貯金共済課】

ちくさん情報



◎きれいに搾って素早く冷却

◎めざせランク1 = 体細胞数30万以下、生菌数1万以下

◎ホクレン十勝家畜市場

・育成牛市場（5月31日）（単位：円）

	頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
育成牛	4	700,920	435,240	554,580	531,025

・乳牛市場（6月5日）（単位：円）

	頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
雑種(ET除)	5	977,400	645,840	878,904	923,685
初妊牛(ET)	-	-	-	-	1,211,849
経産牛	-	-	-	-	558,452

次回市場

育成牛	7月2日	(農協順：19)
乳牛	7月18日	(農協順：19)
育成牛	8月8日	(農協順：2)
乳牛	8月29日	(農協順：19)

・肉牛市場（6月12日～15日）（単位：円）

	頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
和牛素牛(去勢)	61	1,024,920	621,000	746,563	780,892
和牛素牛(雌)	40	1,071,360	415,800	661,338	699,369
繁殖雌牛	6	1,064,880	543,240	804,060	855,139
廃用牛	12	286,200	42,120	185,670	231,770
交雑牛(去勢)	17	478,440	385,560	434,033	471,755
交雑牛(雌)	79	444,960	227,880	362,237	386,323

次回市場

7月10・11日	(農協順 黒毛：2・交雑牛：4)
8月21・24日	(農協順 黒毛：2・交雑牛：4)

◎ホクレン十勝枝肉市場（6月平均単価）

（単位：kg/円）

	A-5	A-4	A-3	A-2	平均単価
和牛	2,394	2,221	1,949	2,177	
	AB-5	AB-4	AB-3	AB-2	平均単価
交雑牛			1,300	1,178	1,215

7月市場 7日

◎初生犢の集荷は、十勝中央家畜市場対応となり、下記の日程で集荷致します。

◎十勝中央家畜市場
7月開催日
3日・6日・10日・13日・17日・20日・24日・27日・31日
8月開催日
3日・7日・10日・14日・17日・21日・24日・28日・31日

◎畜産公社出荷日 7月都度協議

◎畜産物の販売希望者は、早めに畜産課へご連絡下さい。
集荷には特段のご協力をお願い致します。尚、初乳は充分与えて下さい。

△乾乳管理と疾病予防▽

乾乳期の管理がうまくいかなければ、以下のようなさまざまな疾病が発生します。乳熱・ケトシス・第四胃変位・胎盤停滞。疾病の多くは分娩前後に集中しますので乾乳期間の飼養管理が重要になります。乳熱（低カルシウム血症）から始まる乾乳後期のミネラル代謝の乱れは、①血中カルシウムの低下、②食欲不振やルーメン運動など、平滑筋の機能低下を起す。このため第四胃変位等の誘因となり、さらに飼料摂取量の低下によるケトシスの発症やエネルギー不足

足による繁殖効率の低下等も促します。分娩後に搾り始めて、量が最大になる時期に、疾病が起こると、治療にかかる費用、手間など大きな経営的・損害を被ることとなります。疾病にさせないための対策ポイントには、①良質な粗飼料を飽食できる状態にする。②乾乳前期・後期に分けて栄養濃度とミネラルバランスを取る。③分娩場所は、滑りやすく、ベッドは敷きわらを多くいれて乾いた場所を確保する。

◎浦幌町の乳牛頭数（搾乳農家）5月

経産牛			育成牛	合計
搾乳牛	乾乳牛	計		
3,306頭	458頭	3,764頭	2,702頭	6,466頭

◎生乳生産量（5月出荷分）

実績乳量	前年実績対比	4月～5月実績乳量	4月～5月前年対比	経産牛1日1頭当乳量
3,107t	104.7%	6,036t	103.9%	30.3kg

◎生乳成分と乳代単価（5月）

項目	脂肪率 %	無脂固形分率 %	単価内訳(円)			合計
			生乳単価	補給金単価	集送乳調整金	
平均						
全道	3.90	8.74	90.93	6.33	1.87	99.13
十勝	3.83	8.76	90.50	6.33	1.87	98.70
浦幌町	3.91	8.81	91.30	6.33	1.87	99.50

◎衛生的乳質検査結果（5月）

ランク	生菌数			体細胞数	戸数
	1	2	3		
全道	15,703 (97.0)	470 (2.9)	10 (0.1)	12,777 (85.7)	5,401
十勝	3,407 (98.2)	61 (1.7)	1 (0.1)	2,962 (90.2)	1,157
浦幌町	137 (97.1)	4 (2.9)	0 (0.0)	111 (86.0)	47

上段は3旬計の件数・下段()は%



我が家の子宝



万年地区

高田美夢^{みゆめ}ちゃん(8歳)・美愛^{みのり}ちゃん(6歳)・葵仁^{あおと}くん(3歳)

(高田善仁さん、知美さん夫妻のお子さん)

・好きな食べ物は？

実夢：いちご
実愛：カレーライス
葵仁：お肉とお米

・家でのお子さんの様子は？

3人ケンカをすることも多いですが、いつも3人くっついて一緒に遊んでいます。

・宝物、マイブームは？

実夢：任天堂SWITCH
実愛：メモ帳とペン
葵仁：トラクターのおもちゃとトランプ

・成長を感じる場面

畑にいる間、3人だけで仲良く留守番が出来るようになったとき。

・どんな子に育ててほしいですか？

・チャームポイントは？

実夢：細い足
実愛：丸い顔と大きな目
葵仁：プニプニホッペと笑顔

思いやりをもって3人仲良く元気に育ててほしいです。

7月のカレンダー

※ 行事日程は変更になる場合があります。

日	事	項
2	フレッシュグリーン一泊研修 (～3日)	
3	第7回企画会議	
	第1回下浦幌小麦係会議	
4	農村女性研修交流会 (～5日)	
5	浦幌町人材銀行新規就農者激励会	
12	農業用廃プラスチック類の回収	
	種馬鈴しよ第2期防疫検査	
18	第34回国際農機店in帯広 (～16日)	
	第8回組合員家族交流会	
19	十勝管内酪農ヘルパー組合組合長・事務局会議	
	第3回監事会	
20	自治監査 (第1四半期)	
	第49回十勝総合家畜共進会 (種馬の部、～20日)	
21	「ひまわり号」による献血	
	ホクレン浦幌SSキャンペーン (～21日)	
23	2018うらほろYOU遊ナイト	
	第49回十勝総合家畜共進会 (肉用牛の部、～22日)	
26	第8回企画会議	
	種馬鈴しよ第3期防疫検査	
27	第6回理事会	
	役員協議会	
	上浦幌支所整備事業検討委員会	
	農業委員会総会	

新 晴耕雨読

183

今回は、小島憲之他校注・訳「新編日本古典文学全集 万葉集(全4巻)」(小学館)を取り上げます。

万葉集は日本で一番古い歌集で、天皇や皇族、柿本人麿などの歌人、防人などが、様々な階級の人たちが詠んだ歌4千首あまりが載っています。当然、飛鳥時代の原本は存在せず、後の時代の写本が多くの系統に分かれて今日に伝えられています。

文法や読み方などの研究は平安時代から始まっており、本全集はこれまでの成果を

取り入れた校訂と注解を施して訳したものです。特に万葉集には「戯書」という独特の万葉仮名用字法があり、読み方には苦労しています。「山上復有山」は「出」で間違いないのですが、「西渡」を「(月が)かたぶく」と読むのには異論もあるそうです。

万葉集は大伴家持の私家集が基になっているという説が有力ですが、なるほど、万葉集最後の歌は、家持の新年の歌「新しき雪のいや重け吉事」です。

歌人の大岡信は「私の万葉集(全5巻)」(講談社現代新書)を出しています。

これは、大岡が万葉集の中から選んだ100首について鑑賞したものです。(り)

